物流Weekly
2013年（平成25年）1月21日（月曜日）

指導法「叱るのは逆効果」

あきば商会 事故半減ノウハウ紹介

【東京】あきば商会は16日、東京都トラック総合会館で「自動車事故半減はこう指導する」と題しセミナーを開催。伸（中央区）の森英昭社長がノウハウを紹介した。

速度を守らないドライバーに対する具体的な指導方法では、「対面ではなく横や斜めに座り、『質問形式＋共感』で行うことが重要。叱るのは逆効果」と注意を促した。

また、居眠り運転が疑われるドライバーには、「居眠りを認めさせるよりも、居眠り運転の危険性と眠くなった時の対処法を正しく理解させるべき」と指摘。「仮説を立ててすべてを検証する必要があるが、車内を撮影できるドラレコとデジタコがあれば、根本的な原因の究明と抑止効果が期待できる」と語った。

同氏は、「自動車事故半減のために必要なことは、『排除』ではなく『適切な指導』であり、1番効果が出るのは『事故を起こしたドライバーの再発防止教育』と『新人ドライバーに対する教育』」と繰り返した。

会場では、同社製のデジタコ・ドラレコ一体型機「タコドラ」が展示され、来場者の関心を集めていた。（大西友洋）

講演する森社長

日本流通新聞
2013年（平成25年）1月28日（月曜日）

あきば商会

1時間で事故半減！

事故防止セミ 指導の専門家が無料で

トラック向けドライブレコーダー一体型デジタコグラフの開発、販売を行う「あきば商会」（本社＝東京・足立区、遠藤美代子社長）が東京、埼玉、千葉、神奈川のトラック協会を中心に事業者および管理者向け安全セミナーを実施している。

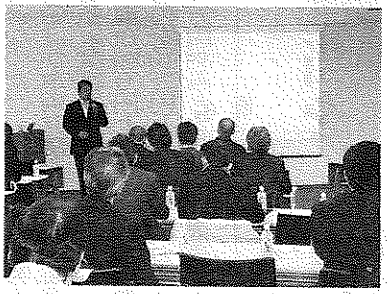
講師は2012年度国土交通省が事故防止対策推進事業の指定コンサルタントに認定した伸（ノブ／東京・中央区）の森英昭社長が行っている。自らドライバーの職歴をもつ森社長はこれまで5000人以上の事故を起こした運転者を直接指導してきた。

セミナーは「1時間でわかる」をテーマに「事故半減」への指導法を分りやすく伝授。交通事故のリスクを大幅に減少させることは可能であり、それは事故を起こす危険度の高いドライバーの発見とその指導方法で左右すると強調する。その要は「原因の究明」に尽きると述べ、無事故・無違反ドライバーですら表向きは優良だが、様々に変化する道路環境を考えれば「運が良かっただけともいうこともある」と切り捨てた。

真に事故のリスクを回避できるドライバーは例えば法定速度に関しても「制限速度に応じた危険予知を行い実行している」と述べ、「知っている」「理解している」とは大きな差があると伝えた。

森社長はこれまで顧問先で培った経験から「事故を起こしたドライバーの半数は過去3年以内に起こしており、人身事故を起こしたドライバーの90％は過去3年内に複数回の事故を起こしている」と述べ、「急ブレーキは事故と同じ」と警告。

急ブレーキなどヒヤリハットの「原因」は何かを特定することが肝心だとして、その有効な手段に〝ドライブレコーダー〟や〝デジタルタコグラフ〟の活用を薦めた。運転中の携帯電話の使用や居眠り運転など隠されやすい真実も、車内を撮影することで「根本原因の究明と抑止効果が期待できる」と語った。



株式会社伸（ノブ）の森社長が講義。50社・70人以上が参加（1月16日／東ト協）

2月の無料セミナー日程

月日	会場	時間
2月4日（月）	神奈川県トラック協会	受付開始　13時30分～ セミナー　14時00分～15時30分
2月20日（水）	東京都トラック協会	
2月25日（月）	千葉県トラック協会	

参加問合せ先・あきば商会（www.akiba-shokai.co.jp/）